

令和5年度吉井川下流維持工事

第三話 刈草を堆肥にせよ!

刈草を資源に!、地球に貢献!

堆肥になるまで

刈草を堆肥場に集め、発酵菌と消臭剤を加え、
水分を調整しながら定期的に混ぜることで、
1年7ヶ月後には植物の栄養となる堆肥が完成します。

堆肥とは

落ち葉や野菜くずなど、自然のものでできた有機物を、
微生物の力で分解して作った肥料のことです。
これらの有機物を積み重ねて発酵させることで、
植物の成長に必要な栄養素が豊富に含まれた、
自然な肥料が作られます。



YOSHIIIGAWA IJIKOUJI

4ヶ月後
匂いが発生し70度まで上昇することで、
雑草の種子や雑菌が死滅し（大幅に減少）、
堆肥後の雑草発生が少なくなる。

ここで
無料配布しています😊👍

ここで一工夫!
おがくずを混ぜると、堆肥の発酵が促進され
より良い堆肥を作ることができます。



私たち野菜は、全力でイジコウジマンの
活動を応援しています!
皆さんもぜひ、一緒に盛り上げていきましょう!

シン・イジコウジマン

令和5年度吉井川下流維持工事

監理技術者:三宅 繁雄
現場代理人:稲村 宏樹

栄光テクノ株式会社

